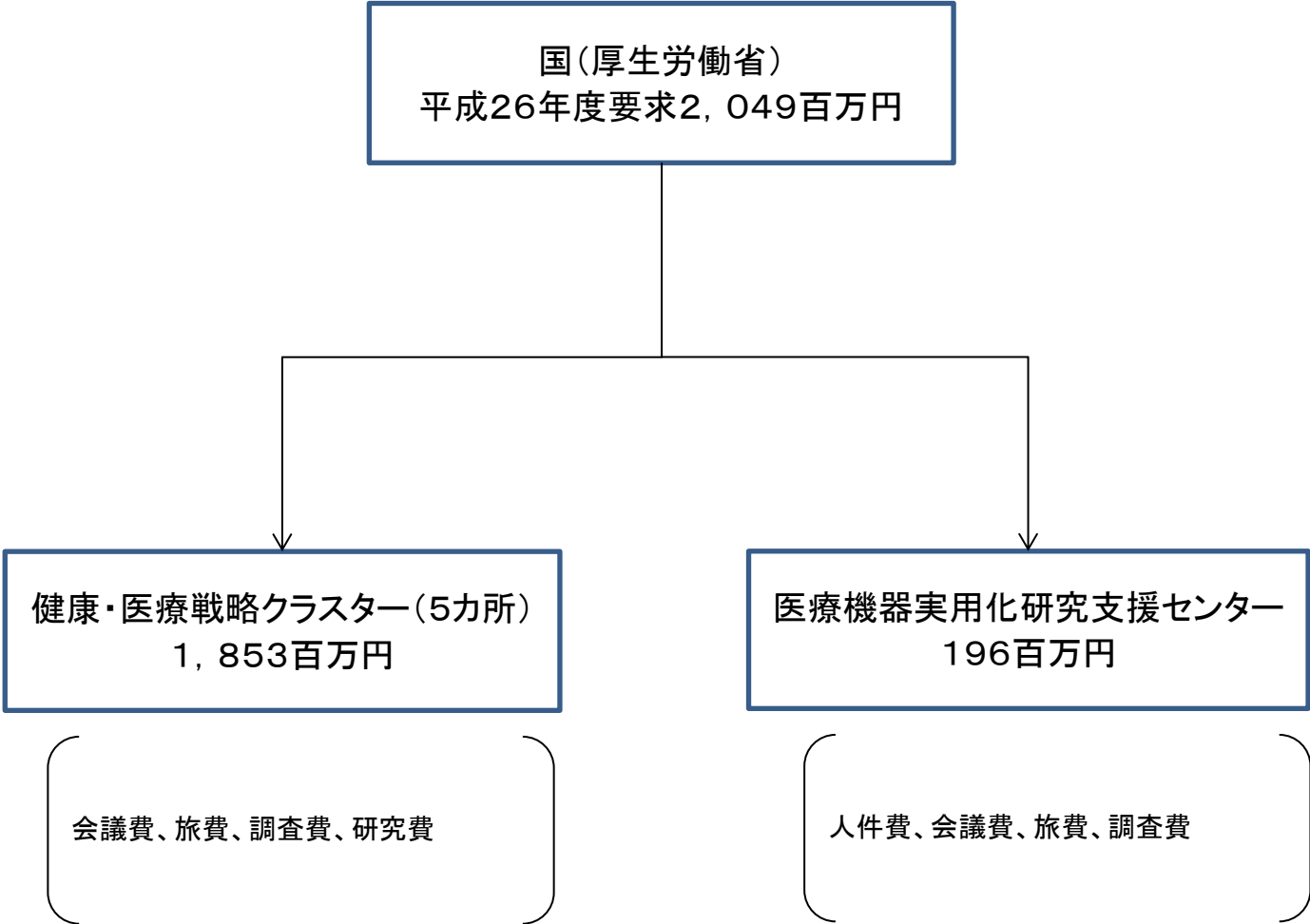


平成25年行政事業レビューシート（厚生労働省）									
事業名	国産医療機器創出促進基盤整備等事業及び医療機器研究開発促進支援ネットワーク整備事業			担当部局庁	医政局			作成責任者	
事業開始・終了(予定) 年度	平成26年度			担当課室	経済課			課長:城 克文	
会計区分	一般会計			政策・施策名	I－8－1 新医薬品・医療機器の開発を促進するとともに、医薬品産業等の振興を図ること				
根拠法令 （具体的な条項も記載）				関係する計画、通知等	「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定) 「健康・医療戦略」(平成25年6月14日関係9閣僚申し合わせ)				
事業の目的 （目指す姿を簡潔に。3行程度以内）	医療関連産業を活性化し、我が国経済の成長に寄与するため国内市場における国産医療機器のシェアを拡大と輸出を拡大する。								
事業概要 （5行程度以内。別添可）	国内市場における国産医療機器のシェアを拡大するとともに、輸出を拡大することを目的とし、日本発の国際競争力がある付加価値の高い医療機器を開発するため、臨床研究・治験が実施可能な医療機関と薬事承認が取得可能な企業を中心に「健康・医療戦略クラスター」(仮称)を構築して、国内外の医療に貢献可能で、かつ市場性が期待できる医療機器の実用化を推進するとともに、本クラスターによる医療機器開発を支援する「医療機器実用化研究支援センター」(仮称)を整備し、医療ニーズの把握、市場動向等の調査・分析、中小企業・研究機関の参画・協力要請等の支援を行う。								
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☒ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他								
予算額・執行額 （単位:百万円）			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算					2,049		
		補正予算							
		繰越し等							
		計					2,049		
	執行額								
	執行率（％）								
成果目標及び成果実績 （アウトカム）	成果指標				単位	22年度	23年度	24年度	目標値 （29年度）
	健康・医療戦略クラスターの構築			成果実績	－				
				達成度	数				
活動指標及び活動実績 （アウトプット）	活動指標				単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	健康・医療戦略クラスターの連携企業数			活動実績 (当初見込み)	数				
単位当たりコスト				算出根拠					
平成25・26年度予算内訳	費 目		25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	革新的医療機器創出促進等臨時特例交付金		－	2,049	「新しい日本のための優先課題推進枠」2,049				
計		－	2,049						

事業所管部局による点検						
	項 目			評 価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			○	医療関連産業は、「日本再興戦略」で健康長寿産業として戦略的分野の一つに位置づけられており、国として実施する必要がある。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	医療関連産業は、「日本再興戦略」で健康長寿産業として戦略的分野の一つに位置づけられており、特に本事業は医工連携の下、産官学が協力して推進すべき事業である。	
	明確な政策目的（成果目標）の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			○	「日本再興戦略」に医療関連産業の活性化により、必要な世界最先端の医療等が受けられる社会を目指すこととされ、その具体的な施策として、健康・医療戦略クラスターの構築とその支援体制の整備が掲げられている。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。					
	受益者との負担関係は妥当であるか。					
	単位当たりコストの水準は妥当か。					
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。					
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。					
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）					
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。					
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。					
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。					
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）			—	—	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
	—	—	—			
	—	—	—			
点検結果	新規事業として、平成26年度概算要求					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
—	国際医療機器創出促進基盤整備等事業及び医療機器研究開発促進支援ネットワーク整備事業については、国内市場における国産医療機器のシェアを拡大するとともに、輸出を拡大するための事業であり、必要性の観点から優先度の高い事業である。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
—	—					
備考						
—						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	—	平成23年	—	平成24年	—

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

A.			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)						
	計		0	計		0
	B.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.		支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
	1					
	2					
	3					
	4					
	5					
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					

B.		支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
----	--	-------	---------	----------------	------	-----

1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

事業番号										新26-017							
平成 2 5 年行政事業レビューシート												(厚生労働省)					
事業名		日本版NIH実現化事業費			担当部局庁		医政局			作成責任者							
事業開始・終了(予定) 年度		平成26年度			担当課室		研究開発振興課			課長:一瀬 篤							
会計区分		一般会計			政策・施策名		I－8－1 新医薬品・医療機器の開発を促進するとともに、医薬品産業等の振興を図ること										
根拠法令 (具体的な条項も記載)		－			関係する計画、通知等		日本再興戦略(平成25年6月14日閣議決定)										
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		研究を臨床につなげるため、国際水準の質の高い臨床試験拠点において、企業の要求水準を満たすような国際水準の質の高い臨床研究・治験が確実に実施されるよう、日本版NIHの取り組みに十分に対応できる体制を確保することを目的とする。															
事業概要 (5行程度以内。別添可)		別添のとおり															
実施方法		■直接実施 ■委託・請負 □補助 □負担 □交付 □貸付 □その他															
予算額・執行額 (単位:百万円)				22年度		23年度		24年度		25年度		26年度要求					
		予算 の 状 況	当初予算										147				
			補正予算														
			繰越し等														
		計										147					
		執行額															
		執行率 (%)															
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		成果指標						単位		22年度		23年度		24年度		目標値 (29年度)	
		シーズ数				成果実績		件									
						達成度		%									
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標						単位		22年度		23年度		24年度		25年度活動見込	
		本事業における選定施設数				活動実績 (当初見込み)		施設									
単位当たりコスト						算出根拠											
平成25・26年度予算内訳	費 目		25年度当初予算		26年度要求		主な増減理由										
	医薬品等試験調査委託費		－		81		「新しい日本のための優先課題推進枠」88										
	諸謝金		－		3												
	委員等旅費		－		4												
	庁費		－		1												
	医薬品審査等業務庁費		－		59												
計		－		147													

事業所管部局による点検						
	項 目			評 価	評価に関する説明	
国 必 費 投 入 の	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			○	「日本再興戦略」において臨床研究・治験の拠点整備について、国が助成することが求められている。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	「日本再興戦略」において臨床研究・治験の拠点整備について、国が助成することが求められている。	
	明確な政策目的（成果目標）の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			○	「日本再興戦略」において臨床研究・治験の拠点整備について、国が助成することが求められている。	
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。					
	受益者との負担関係は妥当であるか。					
	単位当たりコストの水準は妥当か。					
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。					
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。					
	不用率が大い場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）					
事 業 の 有 効 性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。					
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。					
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。					
重 複 排 除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 （役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）			—	—	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
	—	—	—			
	—	—	—			
点 検 結 果	新規事業として、平成26年度概算要求					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
—	日本版NIH実現化事業費については、国際水準の質の高い臨床試験拠点において、日本版NIHの取組に十分に対応できる体制を確保することを目的とするものであり、必要性の観点から優先度の高い経費である。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
—	—					
備考						
—						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	—	平成23年	—	平成24年	—

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省
2, 213百万円

〔日本版NIH臨床研究治験支援事業の実施の補助〕



(補助)

A. 臨床研究機関(15機関)

〔日本版NIH臨床研究治験支援事業の実施〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途
(「資金の流れ」に
おいてブロックご
とに最大の金額
が支出されている
者について記載
する。費目と使途
の双方で実情が
分かるように記
載)

A.			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

【事業概要】
日本版NIH実現化事業費

事業概要	○日本版NIH臨床研究治験支援事業 基礎研究から実用化まで切れ目のない支援を実施して実用化までのスピードアップを図るとともに、臨床研究中核病院だけでなく早期・探索的臨床試験拠点においても共同倫理/治験審査委員会を設置するなどARO機能を強化する。 ○早期・探索的臨床試験拠点整備事業 日本発の革新的な医薬品等を創出するために、世界に先駆けてヒトに初めて新医薬品等を使用する臨床試験拠点となる医療機関を選定し、当該機関がエビデンスを医師主導治験により確立できる体制の整備を行う。 ○日本主導型グローバル臨床研究体制整備事業(平成24年度～) 日本発の革新的な医薬品、医療機器に関する世界同時承認申請ができるよう、日本が主導してグローバル臨床研究を支援する体制を整備する。 ※補助率 100%
------	--

事業番号										新26-018			
平成 2 5 年行政事業レビューシート												(厚生労働省)	
事業名		再生医療促進事業費			担当部局庁		医政局			作成責任者			
事業開始・終了(予定) 年度		平成26年度			担当課室		研究開発振興課			課長:一瀬 篤			
会計区分		一般会計			政策・施策名		I－8－1 新医薬品・医療機器の開発を促進するとともに、医薬品産業等の振興を図ること						
根拠法令 (具体的な条項も記載)		－			関係する計画、通知等		日本再興戦略(平成25年6月14日閣議決定) ヒト幹細胞を用いる臨床研究に関する指針 (平成22年厚生労働省告示第380号)						
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		再生医療については、患者(国民)の期待が高い一方、新しい医療であることから、関係法令などが必ずしも十分整理されておらず、実用化に際しての安全性に課題がある。そのため、再生医療等の安全性の確保等に関する法律案を国会へ提出しており、本法案の施行により、長期的・多角的に再生医療等の提供状況を把握し、広く国民へ正確な知識を普及させることを目的とする。											
事業概要 (5行程度以内。別添可)		別添のとおり											
実施方法		■直接実施 ■委託・請負 ■補助 □負担 □交付 □貸付 □その他											
予算額・執行額 (単位:百万円)		予算の状況		22年度		23年度		24年度		25年度		26年度要求	
				当初予算								1,492	
				補正予算									
				繰越し等									
		計										1,492	
		執行額											
		執行率 (%)											
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		成果指標						単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (29年度)	
		臨床研究への移行数				成果実績	件						
						達成度	%						
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標						単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
		本事業における選定施設数				活動実績 (当初見込み)	箇所						
単位当たりコスト						算出根拠							
平成25・26年度予算内訳	費 目		25年度当初予算		26年度要求		主な増減理由						
	医療施設運営費等補助金		－		1,321		「新しい日本のための優先課題推進枠」1,492						
	医薬品等試験調査委託費		－		172								
	計		－		1,492								

事業所管部局による点検						
	項 目			評 価	評価に関する説明	
国 必 費 投 入 の	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			○	再生医療は迅速な実用化が求められており、国が主体的に取り組むよう求められている。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	再生医療は迅速な実用化が求められており、国が主体的に取り組むよう求められている。	
	明確な政策目的（成果目標）の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			○	再生医療は迅速な実用化が求められており、国が主体的に取り組むよう求められている。	
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。					
	受益者との負担関係は妥当であるか。					
	単位当たりコストの水準は妥当か。					
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。					
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。					
	不用率が大い場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）					
事 業 の 有 効 性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。					
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。					
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。					
重 複 排 除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 （役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）			—	—	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
	—	—	—			
	—	—	—			
点 検 結 果	新規事業として、平成26年度概算要求					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
—	再生医療促進事業費については、再生医療等の安全性の確保等に関する法律案の施行により、長期的・多角的に再生医療等の提供状況を把握し、広く国民へ正確な知識を普及させるための事業であり、必要性の観点から優先度の高い事業である。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
—	—					
備考						
—						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	—	平成23年	—	平成24年	—

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省
0百万円



【公募】

A.病院等 21機関

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途
(「資金の流れ」に
おいてブロックご
とに最大の金額
が支出されている
者について記載
する。費目と使途
の双方で実情が
分かるように記
載)

A.			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

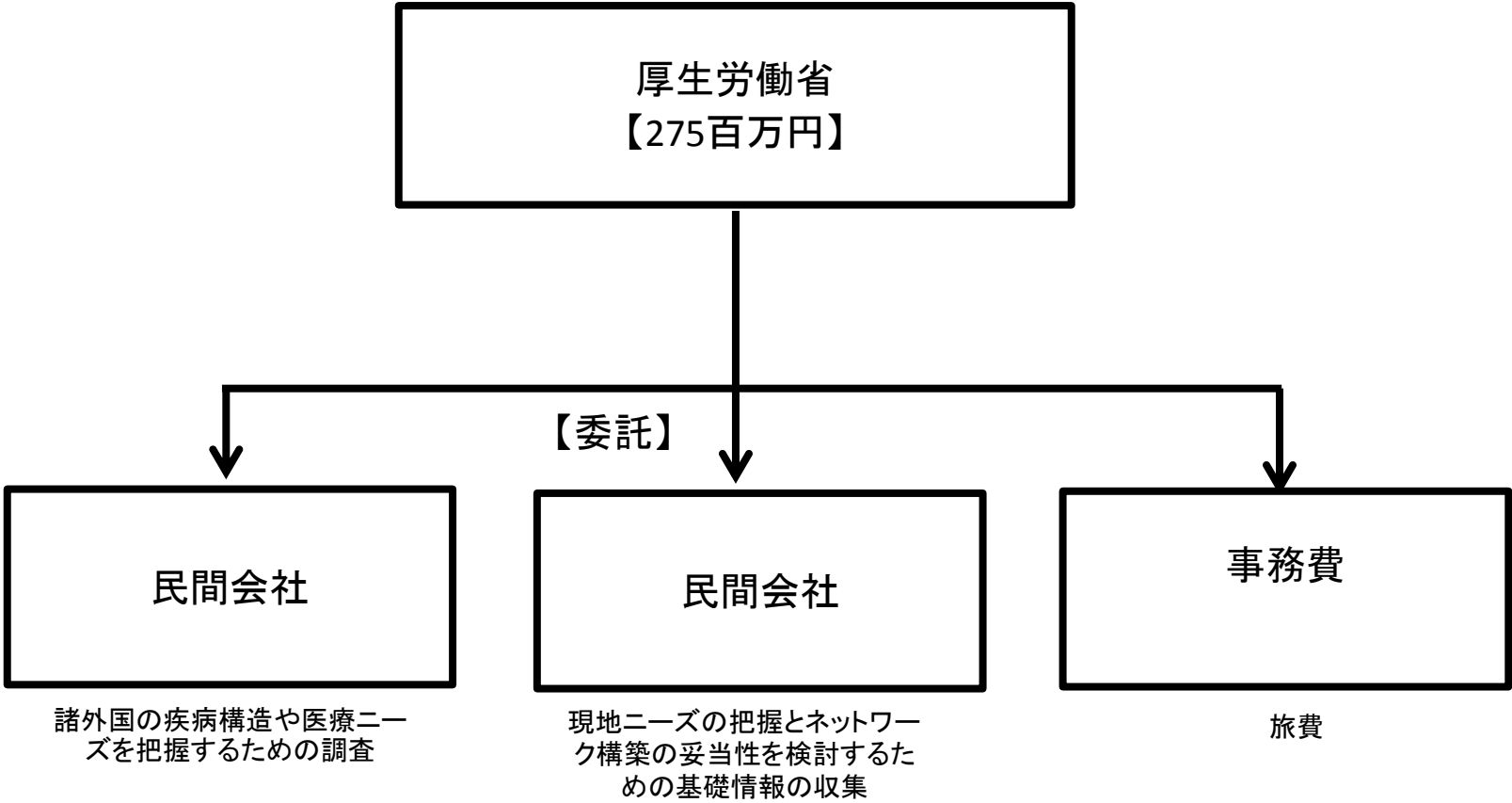
【事業概要】
再生医療促進事業費

事業概要	○特定認定再生医療等委員会運営費補助事業 再生医療等の届出に際しては、事前に合議制の機関で、提供計画を倫理的及び科学的観点から総合的に審査することとし、第一種再生医療等又は第二種再生医療等の提供計画を審査することのできるものを特定認定再生医療等委員会として設置するために、必要な体制整備を行う。 ○再生医療実用化研究実施拠点整備事業 再生医療における臨床研究の中心的役割を担う基盤機関として、他の研究を実施している病院、研究所と連携し、各々の研究成果を集約し、実用化のための各種基準を作成するための人材確保、医療機器等について整備を行う。 ○細胞培養加工施設許可調査事業 細胞培養加工施設の構造設備等が基準に適合するかどうかについて調査するための体制整備を行う。 ○再生医療等提供情報管理委託事業 再生医療等の提供計画が厚生労働省に届け出された後の提供計画等の台帳管理、また長期的に再生医療等の知恵今日状況を把握できるよう提供前に届け出された提供計画と再生医療等の提供後の定期報告とを連結する仕組みの構築とともに、ヒト幹細胞情報を集約しているヒト幹細胞データベースと連携させ、広く国民へ再生医療の正確な知識を普及させるための方策を整備する。 ※補助率 100%
-------------	---

事業番号										新26-019				
平成25年行政事業レビューシート（厚生労働省）														
事業名		医薬品・医療機器産業海外展開推進事業			担当部局庁		医政局			作成責任者				
事業開始・終了(予定) 年度		平成26年度			担当課室		総務課			課長:土生 栄二				
会計区分		一般会計			政策・施策名		I-8-1 新医薬品・医療機器の開発を促進するとともに、医薬品産業等の振興を図ること							
根拠法令 (具体的な条項も記載)		—			関係する計画、通知等		—							
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		相手国の医療の発展に寄与する持続的な事業展開を実現するとともに、日本の良質な医療を普及する観点から、相手国の実情に適した医療機器・医薬品、インフラ等の輸出等の促進を図る。												
事業概要 (5行程度以内。別添可)		○関係府省(外務省、経産省)及び関係機関(MEJ、JETRO、JICA等)との協力の下、我が国が誇る高品質の医療機器を、諸外国の疾病構造や医療ニーズを把握するための調査を行った上で、各国・地域の実情に適した医療機器を、人的協力や保険制度等と一体化して輸出する。 ○新興国・途上国に対し海外調査(書面・現地)の実施による現地ニーズの把握とネットワーク構築の妥当性を検討するための基礎情報の収集及び職員の海外派遣を行う。 ○医薬品・医療機器産業の海外進出及び国際的な経済交渉への対応策として、諸外国の薬事規制の調査を行う。												
実施方法		■直接実施 ■委託・請負 □補助 □負担 □交付 □貸付 □その他												
予算額・執行額 (単位:百万円)				22年度		23年度		24年度		25年度		26年度要求		
		予算 の 状 況	当初予算										275	
			補正予算											
			繰越し等											
		計										275		
		執行額												
		執行率(%)												
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		成果指標						単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)		
		諸外国の疾病構造や医療ニーズを把握するための経費であり、成果を設定すべきものではない。				成果実績								
						達成度								
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標						単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込		
		訪問国数				活動実績 (当初見込み)	国							
単位当たりコスト						算出根拠								
平成25・26年度予算内訳	費目		25年度当初予算		26年度要求		主な増減理由							
	薬事経済調査委託費		—		113		「新しい日本のための優先課題推進枠」275							
	医薬品審査等業務庁費		—		101									
	庁費		—		6									
	職員旅費		—		55									
計		—		275										

事業所管部局による点検						
	項 目			評 価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			○	日本の医療技術や医療サービスの国際展開の推進のための当事業は「日本再興戦略」においても官民一体となって進めていく事業であり国費の投入の必要がある。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	日本の医療技術や医療サービスの国際展開の推進のため官民一体となって進めていく事業であり、民間等のみに委ねることができない。	
	明確な政策目的（成果目標）の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			○	日本の医療技術や医療サービスの国際展開の推進のための当事業は「日本再興戦略」の推進のため優先度が高い。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。					
	受益者との負担関係は妥当であるか。					
	単位当たりコストの水準は妥当か。					
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。					
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。					
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）					
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。					
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。					
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。					
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）			—	—	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
	—	—	—			
	—	—	—			
点検結果	新規事業として、平成26年度概算要求					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
—	医薬品・医療機器産業海外展開推進事業については、相手国の医療の発展に寄与する持続的な事業展開を推進するとともに、日本の良質な医療を普及する観点から、相手国の実情に適した医療機器・医薬品、インフラ等の輸出等の促進を図るためのものであり、必要性の観点から優先度の高い事業である。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
—	—					
備考						
—						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	—	平成23年	—	平成24年	—

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途
（「資金の流れ」に
おいてブロックご
とに最大の金額
が支出されている
者について記載
する。費目と使途
の双方で実情が
分かるように記
載）

A.			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					